

デジタル時代の著作権協議会（CCD）
平成24年度第1回 著作権ビジネス研究会

議事要旨

日時：平成24年7月9日（月）14：00～15：40

場所：著作権情報センター会議室

議題1：講演 「Fluzo システムの稼働状況について」

議題2：その他

議長：著作権ビジネス研究会主査・椎名和夫

記

椎名著作権ビジネス研究会主査が議長をつとめた。

議題1. 講演「Fluzo システムの稼働状況について」

一般社団法人著作権情報集中処理機構(CDC)普及推進部長の澤口壮平氏を講師として招き、同機構の基幹システム「Fluzo（フルゾ）」とCDCの現状についてご講演いただいた。

はじめに、同機構の設立趣旨、Fluzo システムの特徴、運用状況、導入後の効果について説明がなされた。CDCは2012年4月報告期には、JASRACが受領した全報告データ数の約半数にあたる1億1180万件の報告データを処理しており、今後スマートフォン等の普及などに伴い、さらなる処理増が見込まれるとのことだった。

また、実際にFluzoシステムにアクセスしてフィンガープリント検索による音源ファイルから楽曲特定するデモンストレーションが行われた。従前のテキスト検索に比べ、作業効率は飛躍的に向上する点について実演された。また、各管理事業者の楽曲情報を紐付けしたCDC-IDとFluzoデータベースのメリットについて触れ、管理事業者向けの報告レポートも正確かつ短時間で作成可能である点について説明があった。

続いて、同様にフィンガープリント技術を利用し、2011年11月から運用が開始された音源情報特定支援システム「Fluzo-S」について解説された。Fluzo-Sはサイト運営・管理者がサーバー内にモジュールとして組み込むことで、著作権管理事業者が管理する楽曲ファイルかどうかをチェックする機能を持ち、違法音楽ファイル対策として有益である旨の説明があった。

講演後の質疑応答では、フィンガープリント技術の精度についての質問や、今後の展望等、さまざまな視点から意見が交換された。

議題2. その他

特段の検討事項はなし。

以上